

JATLaC 言語文化教育学会

2022年度 前期公開講演会

日時 : 2022年7月10日(日) 14時 ~ 17時

会場 : ZOOM利用によるオンライン開催

参加費 : 無料 (学会ホームページからの申し込みが必要です)

学会ホームページ:<http://www.waseda.jp/assoc-JATLaC/index.html>

講演

「言語教育政策及び教育実践現場と言語使用実態との乖離 -ビジネスピープルと教員アンケートの結果より」

講師 : 村田 久美子 氏 (早稲田大学名誉教授)

司会 : 中井 基博 (当学会理事・東京国際大学)

概要:

本講演は国内外多言語環境の職場で英語を共通語として使用している(あるいはしていた)ビジネスピープルへの英語使用実態調査のアンケート結果に基づく。回答者の背景では、有効回答提出45名中、約4分の1、11名が教育(関連)現場(主として中高教員)で仕事をしていることが判明、回答内容の質的分析の結果、ビジネス現場と教育現場で働く回答者の英語や英語使用に関する意見が対照的に異なることも判明、講演ではこの違いを中心に論ずる。前者は「コミュニケーションの多様化が進む現場」と括ることができ、後者は、昨今のグローバル化によるコミュニケーションの多様化にも関わらず「『英語』母語話者(NES)基準を堅持する現場」と描写することができ、二項対立の様相を呈した。本講演ではこの違いを対比しながら提示、この結果が言語(英語)教育にもたらす意味を論じる。これに加え、多くの教員回答で言及されたALT(Assistant Language Teacher, 外国人補助教員)に対する意見と、政府の言語政策の一環としてのALT採用募集関連文書のデイスコース分析でもサポートしつつ、言語使用環境の急速な変化に特段の変更もなく、基本的にNES基準を堅持する言語政策及びそれを順守する教育現場と、多様化が加速するビジネス現場の乖離を明確にし、このギャップを解消し、現在及び将来、生徒、学生が直面するであろう多言語環境でのコミュニケーションに即した言語(英語)教育実現の為の言語政策、教育のあり方を論じる。

〔どなたでもご参加いただけます。学会ホームページよりお申し込みください。〕

問い合わせ先:言語文化教育学会事務局 (E-メール:jatlac@gol.com)

・ 言語文化教育学会2022年度前期公開講演会

日時：2022年7月10日(日)午後2時より

場所：ZOOM利用によるオンライン

構成：

午後2時～3時 講演

3時～ 質疑応答、ディスカッション

講師:村田久美子氏（早稲田大学名誉教授）

講演テーマ：「言語教育政策及び教育実践現場と言語使用実態との乖離 -ビジネス
ピープルと教員アンケートの結果より」

概要

本講演は国内外多言語環境の職場で英語を共通語として使用している（あるいはしていた）ビジネスピープルへの英語使用実態調査のアンケート結果に基づく。回答者の背景では、有効回答提出45名中、約4分の1、11名が教育（関連）現場（主として中高教員）で仕事をしていることが判明、回答内容の質的分析の結果、ビジネス現場と教育現場で働く回答者の英語や英語使用に関する意見が対照的に異なることも判明、講演ではこの違いを中心に論ずる。前者は「コミュニケーションの多様化が進む現場」と括ることができ、後者は、昨今のグローバル化によるコミュニケーションの多様化にも関わらず「『英語』母語話者(NES)基準を堅持する現場」と描写することができ、二項対立の様相を呈した。本講演ではこの違いを対比しながら提示、この結果が言語（英語）教育にもたらす意味を論じる。これに加え、多くの教員回答で言及されたALT（Assistant Language Teacher, 外国人補助教員）に対する意見と、政府の言語政策の一環としてのALT採用募集関連文書のディスコース分析でもサポートしつつ、言語使用環境の急速な変化に特段の変更もなく、基本的にNES基準を堅持する言語政策及びそれを順守する教育現場と、多様化が加速するビジネス現場の乖離を明確にし、このギャップを解消し、現在及び将来、生徒、学生が直面するであろう多言語環境でのコミュニケーションに即した言語（英語）教育実現の為の言語政策、教育のあり方を論じる。

講演者

村田久美子氏

2020年3月早稲田大学教育・総合科学学術院を選択退職し、同年4月より同大学名誉教授。研究領域は共通語としての英語(ELF)コミュニケーション、デイスコース分析及び語用論的視点を取り入れた異文化コミュニケーション分析、言語(英語)教育全般。

最近の著書、編著書に

Murata, K.(ed.) 2019. English-Medium Instruction from an English as a Lingua Franca Perspective:

Exploring the higher education context. London: Routledge.

Murata, K. 2019. The realities of the use of English in the globalised world and the teaching of English:

a discrepancy? JACET Journal, Vol.63: 7-26. (招待論文)

村田久美子 2020. 「バイリンガル/多言語環境の中での(共通語としての)英語(ELF)を媒介とした教育

(MI/E)」『母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会 紀要』 Vol.16 :1-23. (招待論文)

Murata, K.(ed.) 2021. ELF Research Methods and Approaches to Data and Analyses: theoretical and

methodological underpinnings. London: Routledge.

Murata, K. 2021. Teaching WE and ELF in EMI from an ELF perspective: a case study at a university in the Expanding Circle. In Y. Bayyurt (ed.) Bloomsbury World Englishes, Volume 3, Pedagogies. London: Bloomsbury, 159-176.

等がある。